

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	手指屈筋腱断裂修復術後の安静時固定肢位を屈曲位とした患者のIP関節伸展制限角度と外来通院頻度の関係		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2025年 3月 31日		
③ 対象患者	Zone1・2の部位で深指屈筋腱断裂された患者さん		
④ 対象期間	2019年 4月 1日 ～ 2023年 3月 31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	整形外科・形成外科		
⑦ 研究責任者	氏名	太島 孝也	所属 リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 年齢、性別、手術待機期間、手術から終了までの日数、総単位数、外来リハビリ単位数、退院から術後8週までの通院の頻度 (yes/no)、損傷指、損傷指の数 (単一/複数)、zone (1/2)、 受傷形態 (鋭利/鈍的)、FDS損傷 (有/無)、掌側板損傷 (有/無)、動脈損傷 (有/無)、神経損傷 (有/無)、各関節の可動域		
⑨ 研究の概要	手指屈筋腱断裂修復術後の安静時固定肢位を屈曲位とした患者様を対象に、外来へ毎日通院が可能であった群と不可能であった群に分けて、各関節の可動域を比較し外来通院頻度別の特徴を明らかにし、また、IP関節の伸展制限角度には外来通院頻度の関係について検討します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします。		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて(このことを「匿名化」と言います)管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します。		
⑭ 研究の資金源	なし		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。		
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 太島孝也		
	電話	0942-35-3322	